

「東京都受動喫煙防止条例案」に関する 東京都在住生活者調査 【概要版報告書】

2018.06.22

東京都 調べ(実査委託先:株式会社マクロミル)
調査回答者 : 東京都在住の20~79才の男女 1000名
調査期間: 2018/6/8~2018/6/12
調査手法: インターネット調査

調査目的

先般発表された「東京都受動喫煙防止条例案」を念頭に東京都民の、受動喫煙に関わる意識や行動、受動喫煙に関わる飲食店等のイメージや利用意向等を把握する。

調査手法

インターネット調査（マクロミル保有の調査モニタを対象）

調査エリア

東京都

対象者条件 サンプル数・割付

・総数：1,000ss 20才～70代の東京都在住の男女
（性年代別に東京都の人口構成比に沿って回収）

※統計局の平成27年国勢調査
人口等基本集計 による東京都の人口を
もとに、右表のように割り付けました。
男女比は偶然50：50となっております。

性別	年代	人口	構成比	男女計	1000ss割り戻し 今回調査の標本数
男性	20代	819,299	7.90%	50.00%	80
	30代	1,025,283	9.90%		99
	40代	1,121,334	10.90%		109
	50代	829,319	8.00%		80
	60代	779,013	7.50%		76
	70代	581,503	5.60%		56
女性	20代	798,077	7.70%	50.00%	77
	30代	982,984	9.50%		95
	40代	1,081,050	10.50%		105
	50代	784,768	7.60%		76
	60代	800,874	7.80%		78
	70代	715,810	6.90%		69
		10,319,314			

設問数

スクリーニング調査：3問
本調査：20問

ご納品物

GT票、rawdata、QuickCross（簡易集計ソフト） 簡易レポート ※FAはリストでのご納品を想定

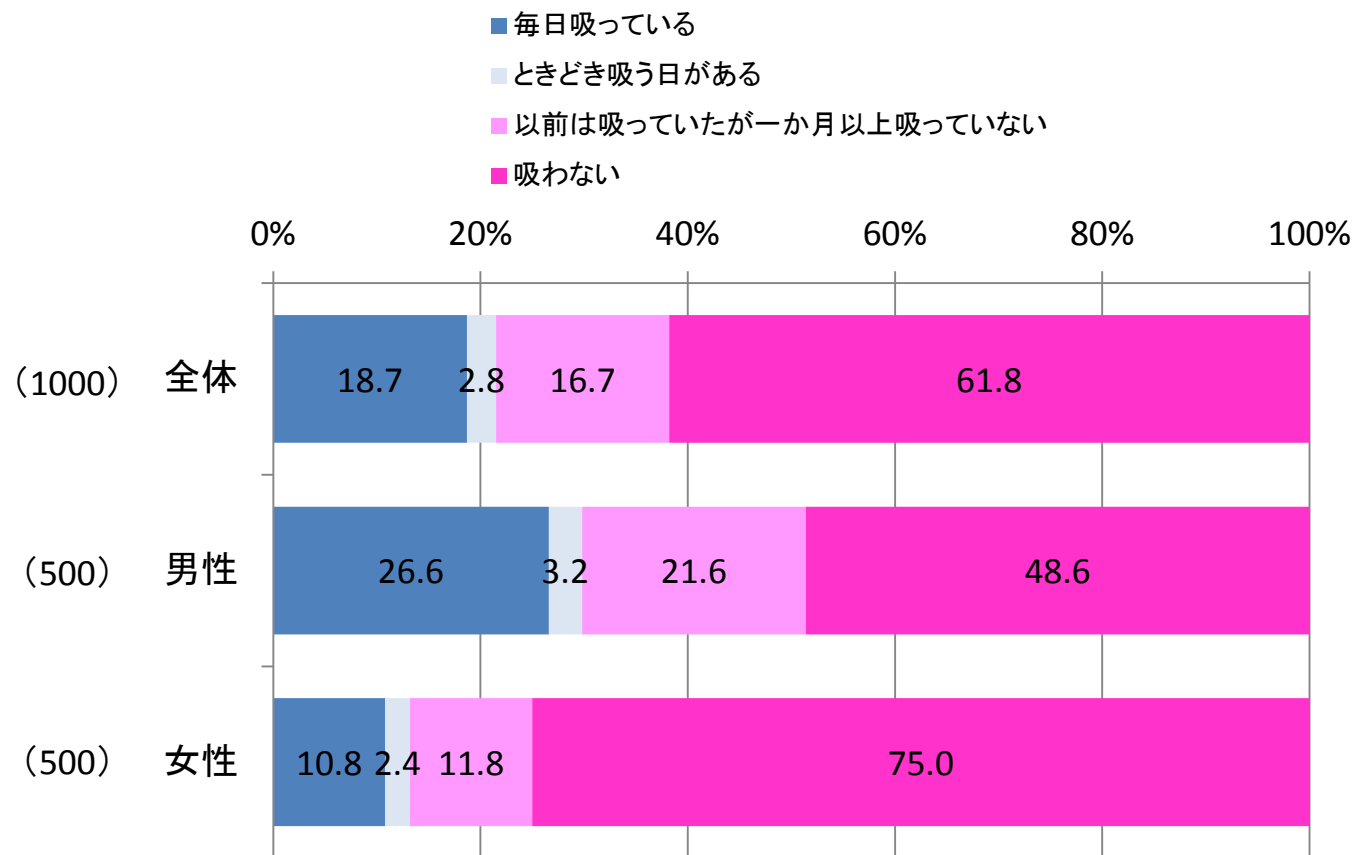
- Q1 喫煙の有無
 - Q2 『受動喫煙』という言葉の認知
 - Q3 飲食店における『受動喫煙』の過去一年間の経験率
 - Q4 飲食店の規模別の『受動喫煙』経験率
 - Q5 『受動喫煙』にあつて感じたこと
 - Q6 飲食店に対する『受動喫煙』防止対策の希望
 - Q7 『受動喫煙』防止対策をとっている飲食店の選択意向
 - Q8 『受動喫煙にあうこと』がなくなった場合の飲食店の利用意向
 - Q9 知人友人・職場の人・家族の喫煙者と一緒だったために飲食店で『受動喫煙』にあつた経験
 - Q10 「たばこを吸う人」と一緒であつた場合に飲食店で『受動喫煙』にあうことに対する意見
 - Q11 「煙草を吸う人」と一緒の場合の『受動喫煙』防止対策をとっている飲食店の選択意向
 - Q12 飲食店の従業員の人たちが、『受動喫煙』にあつていることに対する意見
 - Q13 自分が飲食店の従業員と仮定した場合の、『受動喫煙』にあつていることに対する意見
 - Q14 国の『受動喫煙を防止するための法律案』 認知・理解
 - Q13 自分が飲食店の従業員と仮定した場合の、『受動喫煙』にあつていることに対する意見
 - Q15 東京都のすすめる『受動喫煙を防止するための条例案』 認知・理解
 - Q16 「国が受動喫煙を防止する目的で立法の準備をすすめていること」への意見
 - Q17 「都が受動喫煙を防止する目的で条例の準備をすすめていること」への意見
 - Q18 「国が受動喫煙を防止する目的で立法の準備をすすめていること」への評価
 - Q19 「都が受動喫煙を防止する目的で条例の準備をすすめていること」への評価
- ご参考：Q18とQ19：受動喫煙防止目的の「国の立法」「都の条例」準備への評価 対照

Q1 喫煙の有無

Q1：あなたはたばこ(加熱式たばこ*を含む)を吸いますか。次の中から一つ選んでください。

*「加熱式たばこ」とは、たばこ葉やたばこ葉を用いた加工品を燃焼させず、専用機器を用いて電気で加熱することで煙を発生させるもの。加熱の方法や温度などは製品ごとに異なります。

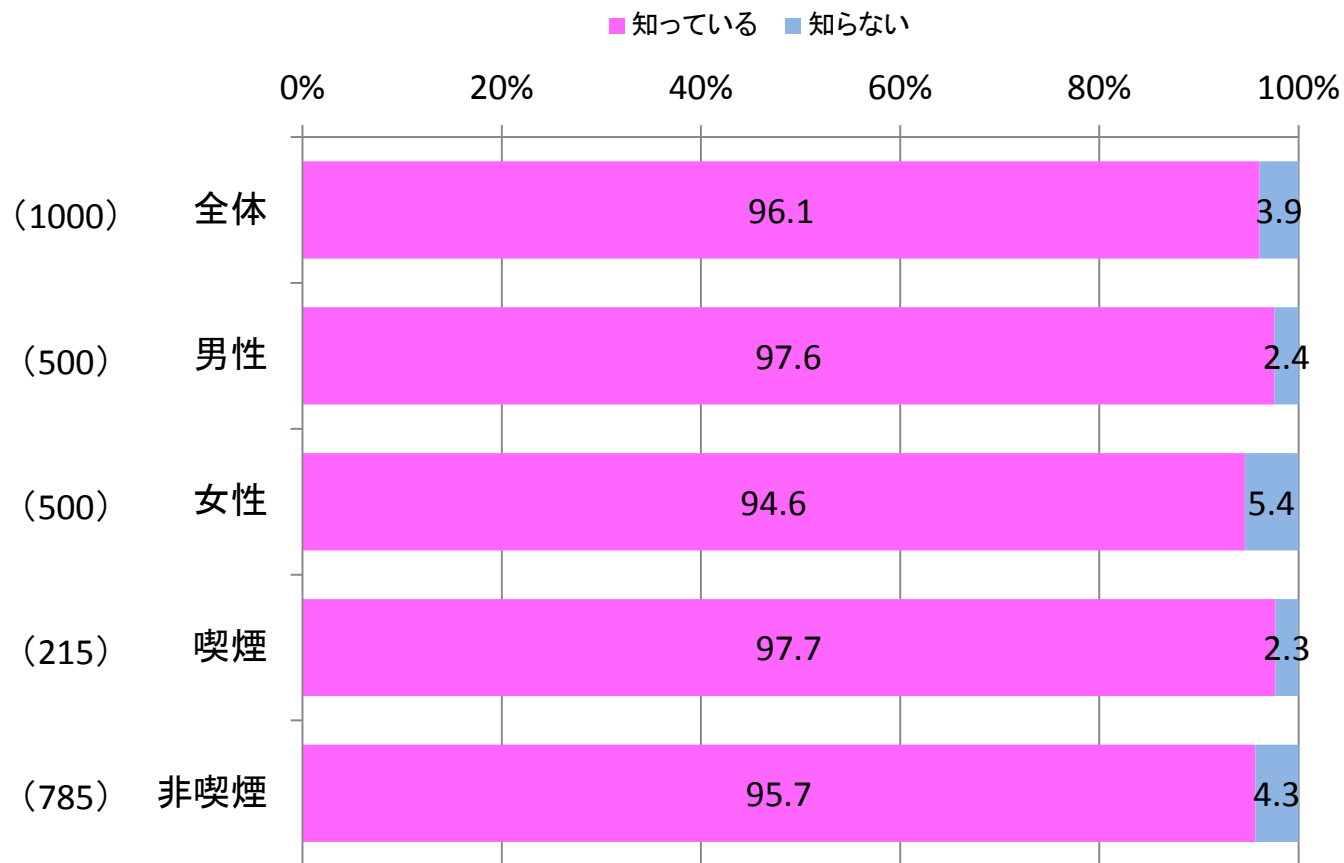
- ・ 喫煙状況については「吸わない」が全体の61.8%と多く、「以前は吸っていたがーか月以上吸っていない」が16.7%となっている。
- ・ 「毎日吸っている」は18.7%、「ときどき吸う日がある」2.8%。以降この二者の合計21.5%を喫煙者とする。
- ・ 性別に見ると、男性では喫煙者が30%近くに対し、女性は13%程度であり、男性の高さが目立っている。



Q2 『受動喫煙』という言葉の認知

Q2: あなたは『受動喫煙』という言葉をご存知ですか。

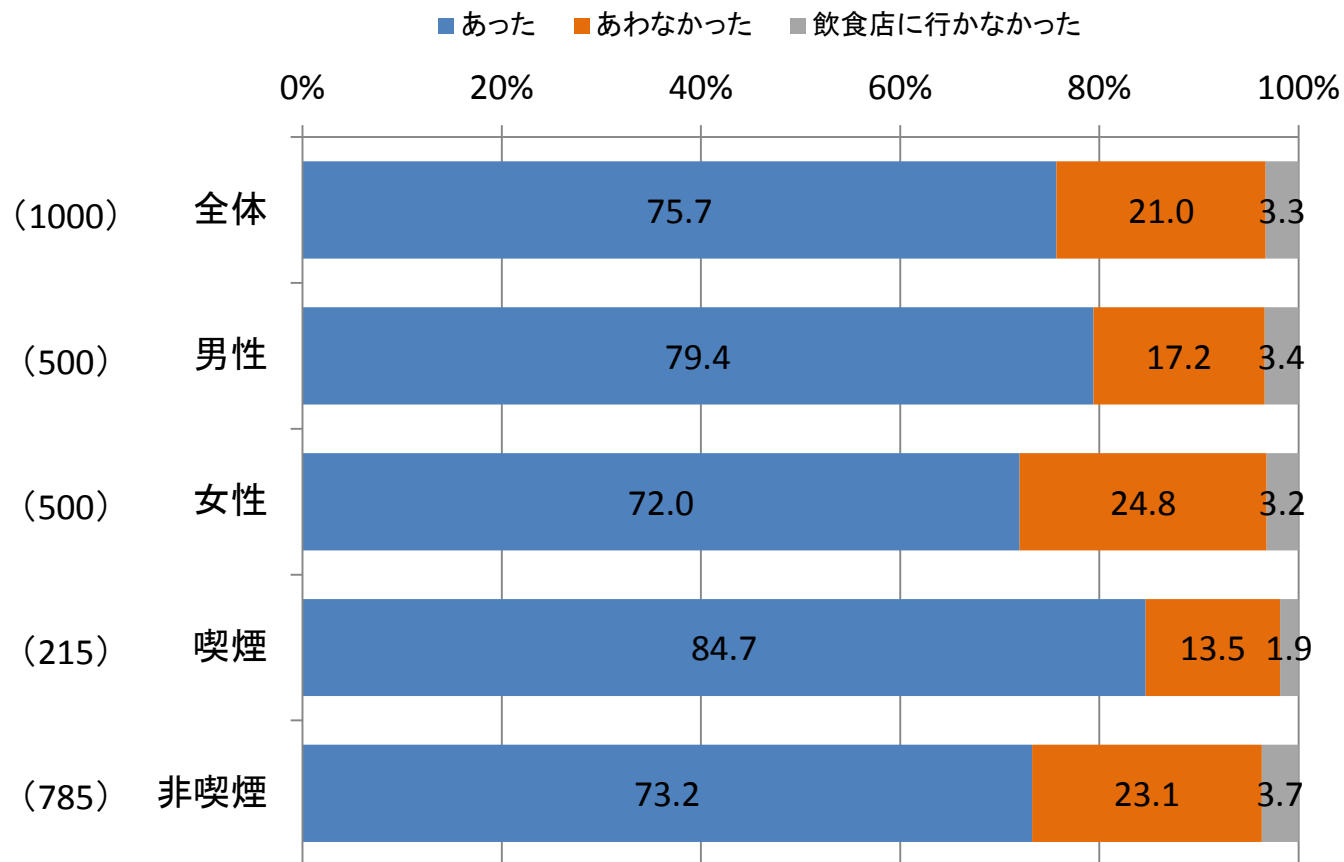
- ・ 『受動喫煙』という言葉の認知率は全体の96.1%と高い。
- ・ 男性と女性、喫煙者と非喫煙者の間で認知率の差はほとんど見られない。



Q3 飲食店における『受動喫煙』の過去一年間の経験率

Q3: 受動喫煙とは、「室内またはこれに準ずる環境において、他人のたばこの煙を吸わされること」をいいます。
あなたは、おおよそ一年の間に飲食店で受動喫煙にあいましたか。

- ・ 過去一年間に、全体の75.7%の人が飲食店で『受動喫煙』を経験している。
 - ・ 「男性」が79.4%、「喫煙者」が84.7%と高い。
- ※ 飲食店に行かなかった人は3%程度と低い。

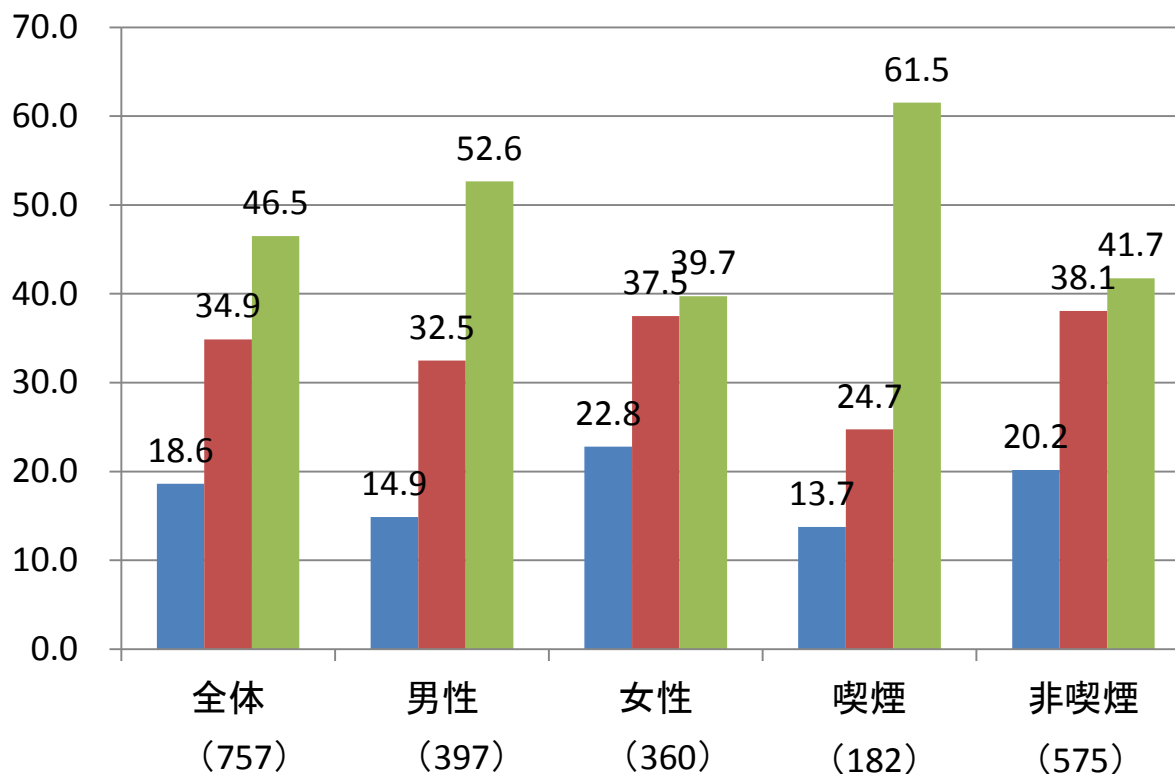


Q4 飲食店の規模別の『受動喫煙』経験率

Q4: 『受動喫煙』にあわれたのは 1 大きな飲食店・大企業の経営する飲食店 2 小さな飲食店・個人等の経営する飲食店のどちらですか。または、両方ですか。

- ・ 飲食店の大きさに関わらず、両方で『受動喫煙』にあっている人は『受動喫煙』経験者の46.5%である。
- ・ 飲食店の大きさ別では、「小さな飲食店・個人等の経営する飲食店のみ」で『受動喫煙』にあった人は34.9%であり、「大きな飲食店・大企業の経営する飲食店のみ」の18.6%の2倍程度となっている。
- ・ 「男性」「喫煙者」では、飲食店の大きさに関わらず両方の店で『受動喫煙』にあっている人が多い。

- 大きな飲食店・大企業の経営する飲食店のみで受動喫煙にあった
- 小さな飲食店・個人等の経営する飲食店のみで受動喫煙にあった
- 上記の1と2の両方で受動喫煙にあった

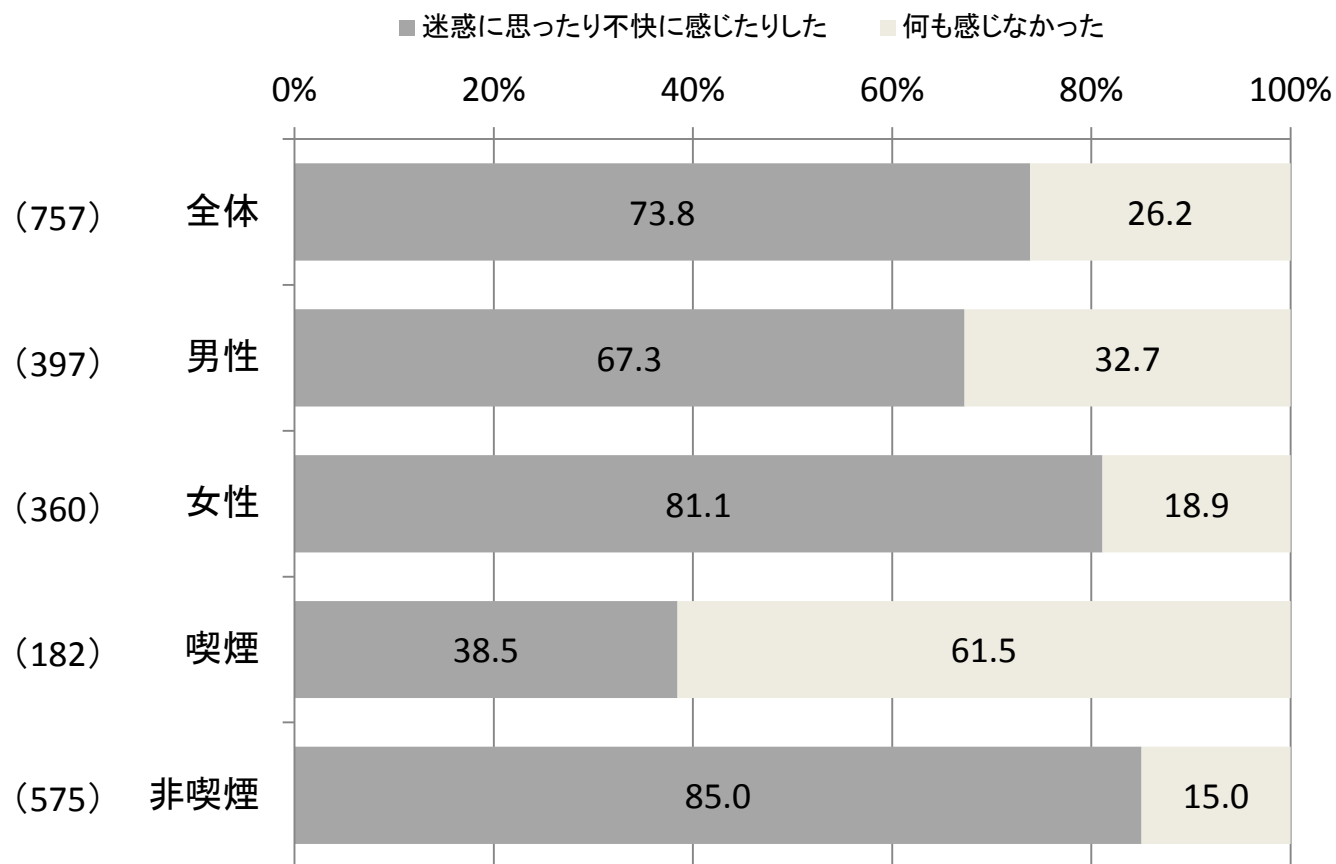


Q3における飲食店における『受動喫煙』の経験者を母数とする

Q5 『受動喫煙』 にあって感じたこと

Q5: あなたは、『受動喫煙』にあったとき、どのように感じましたか。あてはまるものを一つ選んでください。

- ・『受動喫煙』にあった人の73.8%が「迷惑に思ったり不快に感じたりした」と回答している。
- ・「女性」で81.1%、「非喫煙者」で85.0%と高い。

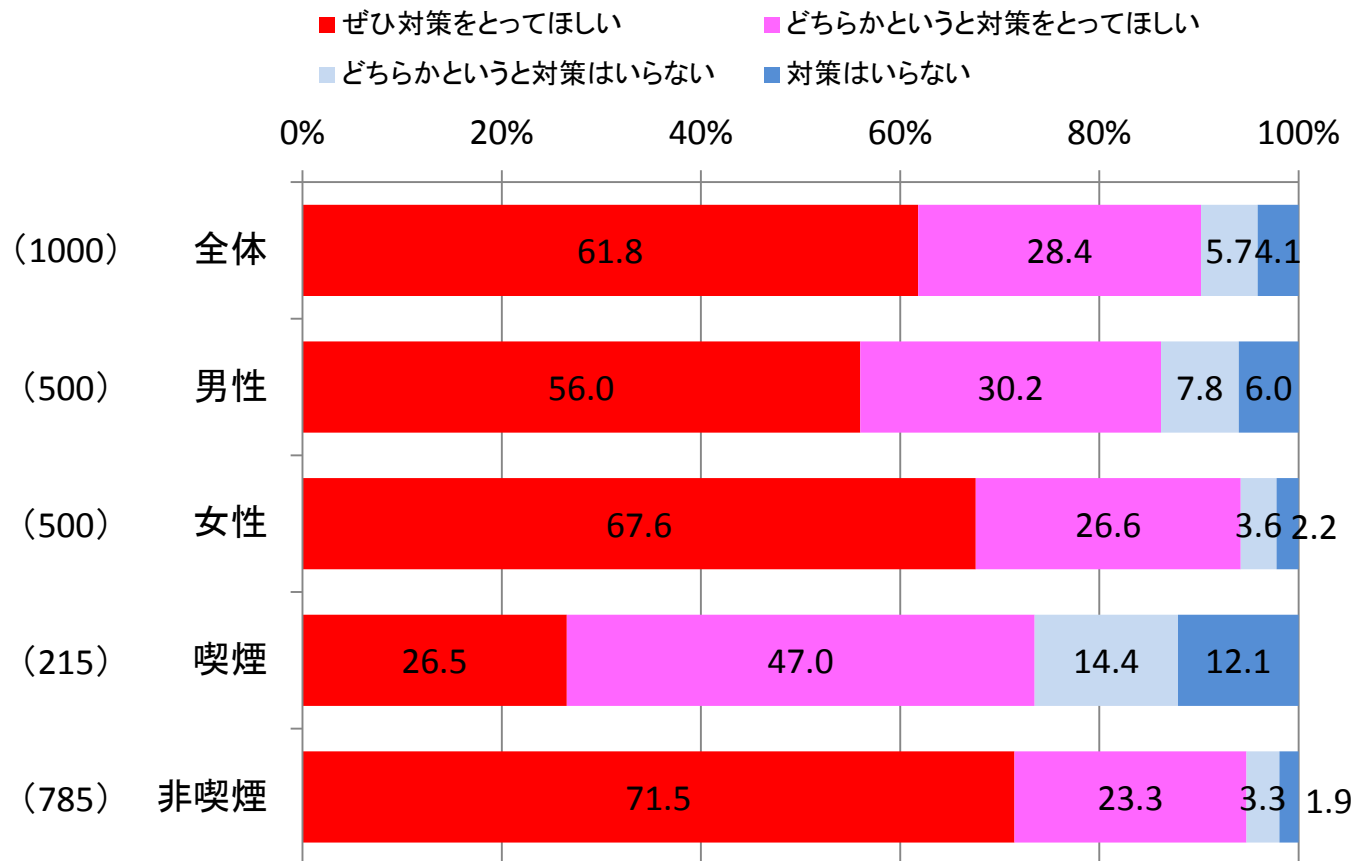


『受動喫煙』における飲食店における
03 経験者を母数とする

Q6 飲食店に対する『受動喫煙』防止対策の希望

Q6: あなたは、飲食店には『受動喫煙を防止する対策』をとってほしいと思いますか。あてはまるものを一つ選んでください。

- ・ 飲食店に対する『受動喫煙』防止対策については「ぜひ対策をとってほしい」61.8%、「どちらかという対策をとってほしい」28.4%、合計すると90.2%が対策を希望している。
- ・ 「女性」では両者計が94.2%、「非喫煙者」では同94.8%と高い数値を示している。



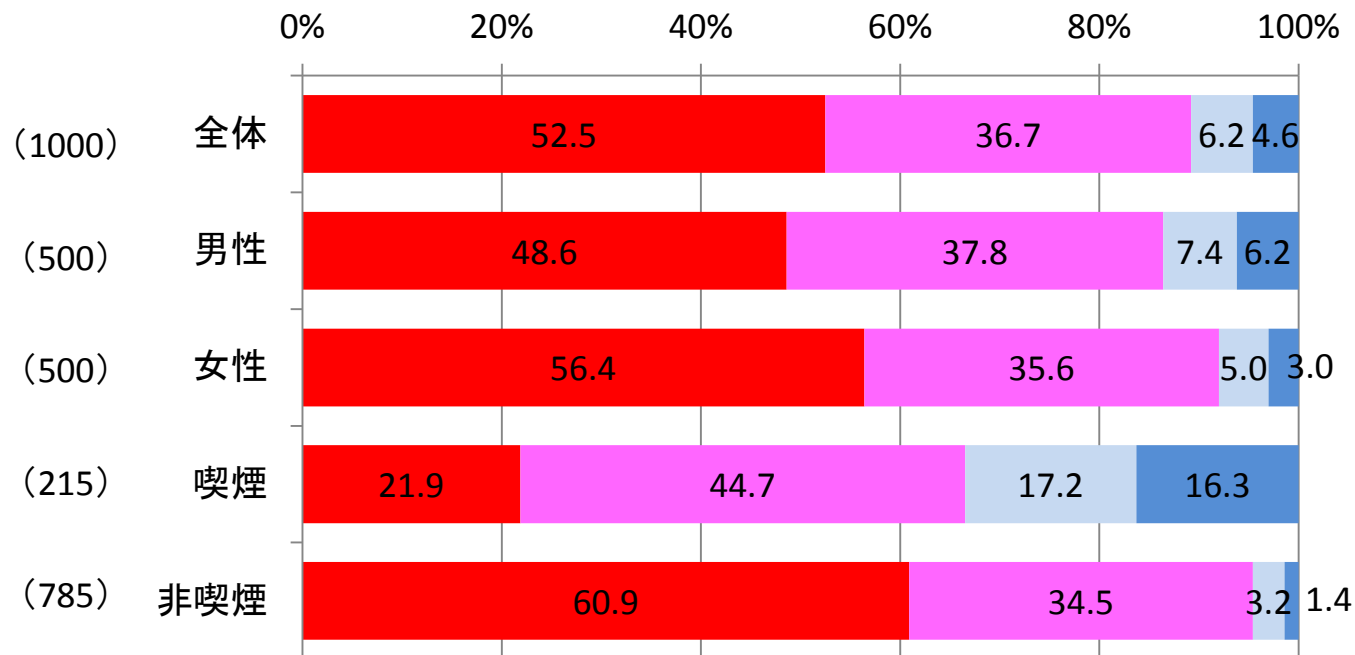
Q7 『受動喫煙』 防止対策をとっている飲食店の選択意向

Q7: あなたは、飲食店を利用することになった際に『受動喫煙防止対策をとっている』お店と『受動喫煙防止対策をとっていない』お店を選べるとしたら、どちらが良いですか。

※『受動喫煙防止対策をとっている／受動喫煙防止対策をとっていない』以外は、同じ条件のお店が二軒あると想定してください。

- ・ 『受動喫煙防止対策をとっている』お店と『受動喫煙防止対策をとっていない』お店を選べる場合、『受動喫煙防止対策をとっているお店を選ぶ』が52.5%、『どちらかという受動喫煙防止対策をとっているお店を選ぶ』が36.7%、合計89.2%の人が『受動喫煙防止対策』をとっているお店を選ぶと回答。
- ・ 喫煙者においても、『受動喫煙防止対策をとっているお店を選ぶ』『どちらかという受動喫煙防止対策をとっているお店を選ぶ』の合計66.6%が『受動喫煙防止対策』をとっているお店を選ぶと回答している。

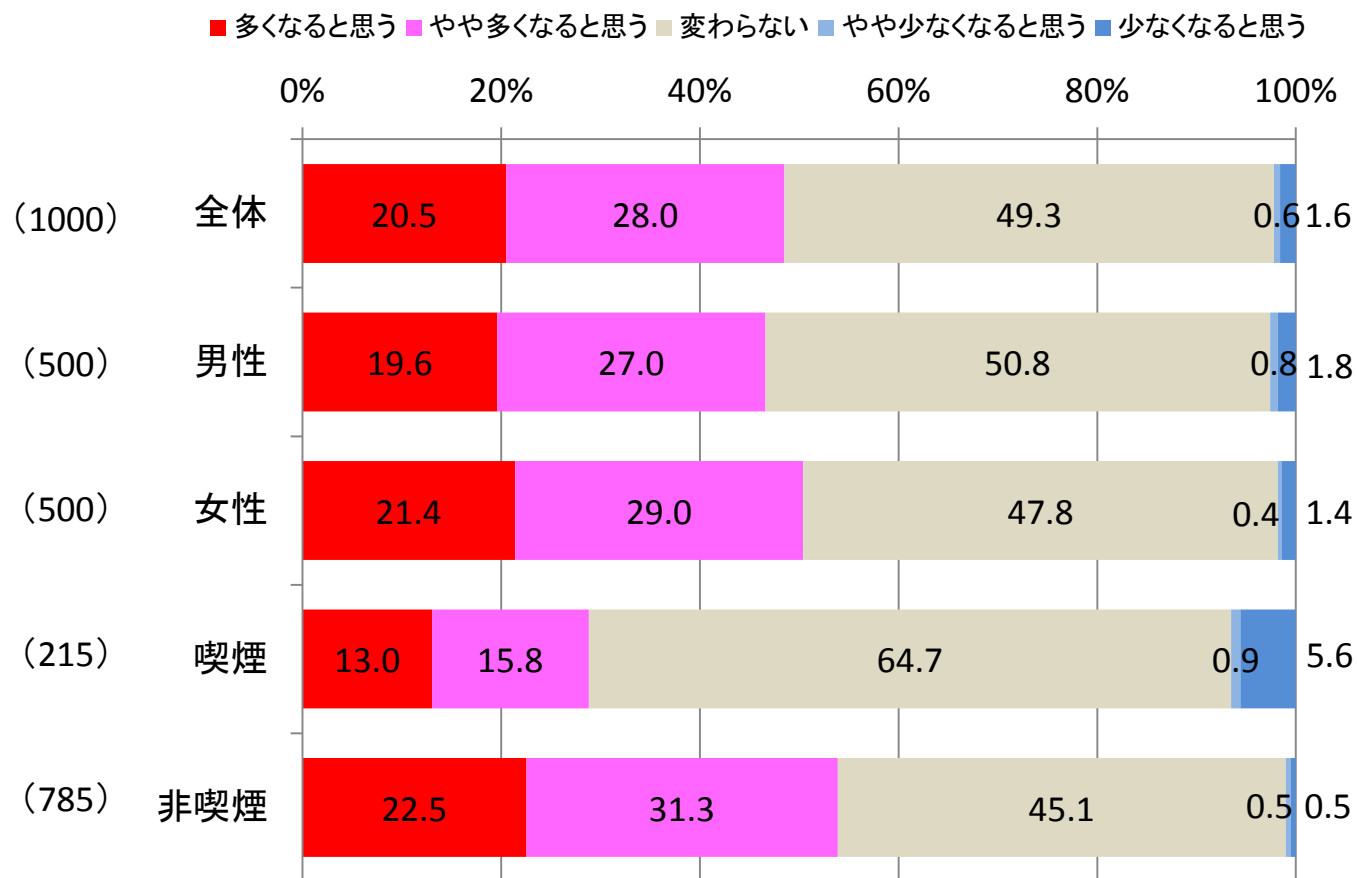
- 『受動喫煙防止対策をとっている』お店を選ぶ
- どちらかという『受動喫煙防止対策をとっている』お店を選ぶ
- どちらかという『受動喫煙防止対策をとっていない』お店を選ぶ
- 『受動喫煙防止対策をとっていない』お店を選ぶ



Q8 『受動喫煙にあうこと』がなくなった場合の飲食店の利用意向

Q8: あなたは、飲食店で『受動喫煙にあうこと』がなくなったら、今よりも飲食店を利用することが多くなると思われませんか。

- ・ 飲食店で『受動喫煙にあうこと』がなくなったら、「飲食店を利用することが多くなると思う」人が20.5%、「やや多くなると思う」人が28.0%、合計48.5%の人が飲食店の利用が多くなると回答。
- ・ 「変わらない」人は49.3%であり、「やや少なくなる」「少なくなる」は合計2.2%となっている。
- ・ 喫煙者では「飲食店を利用することが多くなると思う」「やや多くなると思う」合計は28.8%と数値が低い「やや少なくなる」「少なくなる」の合計である6.5%に比べると高い。

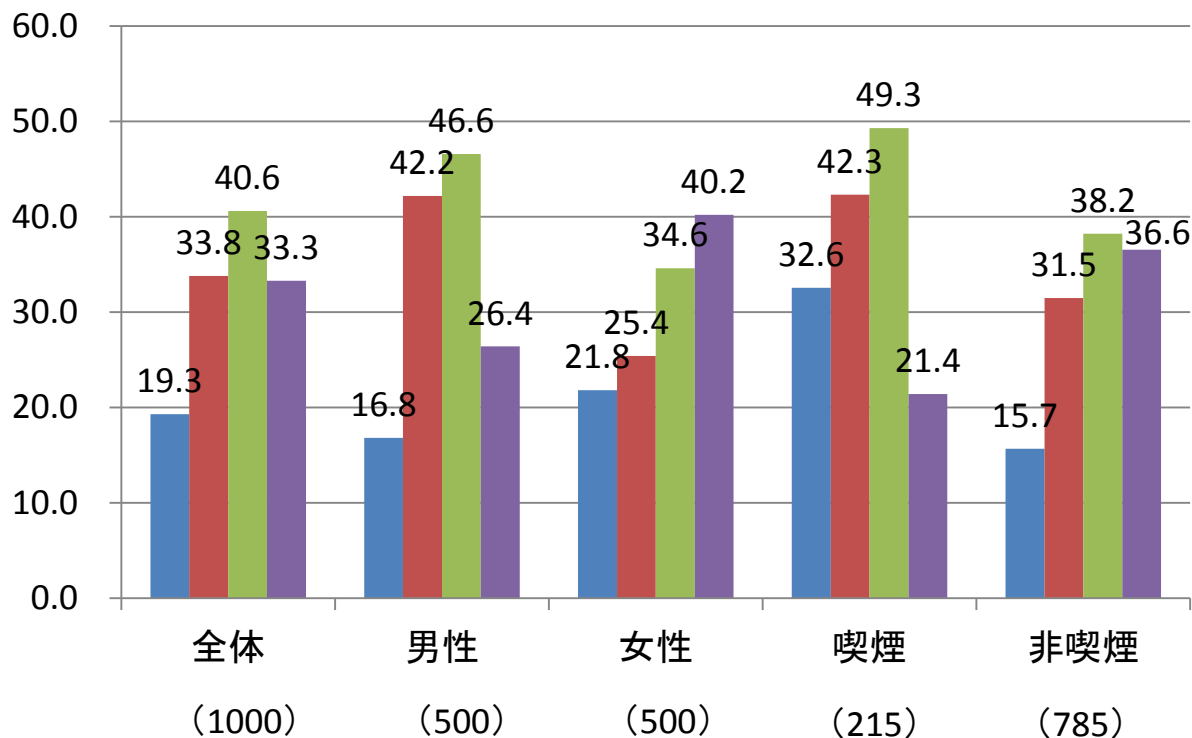


Q9 知人友人・職場の人・家族の喫煙者と一緒だったために飲食店で『受動喫煙』にあった経験

Q9：あなたは、おおよそ三年間の間に、知人友人・職場の人・家族で「たばこを吸う人」と一緒だったために飲食店で『受動喫煙』にあわれたことはありますか。以下の中であてはまるものをすべてお知らせください。

- ・ 過去3年間で「たばこを吸う知人・友人と一緒にだったので飲食店で『受動喫煙』にあったことがある」人は40.6%。「職場の人」では33.8%、「家族」では19.3%となっている。
- ・ 「男性」「喫煙者」で数値が高い傾向がある。

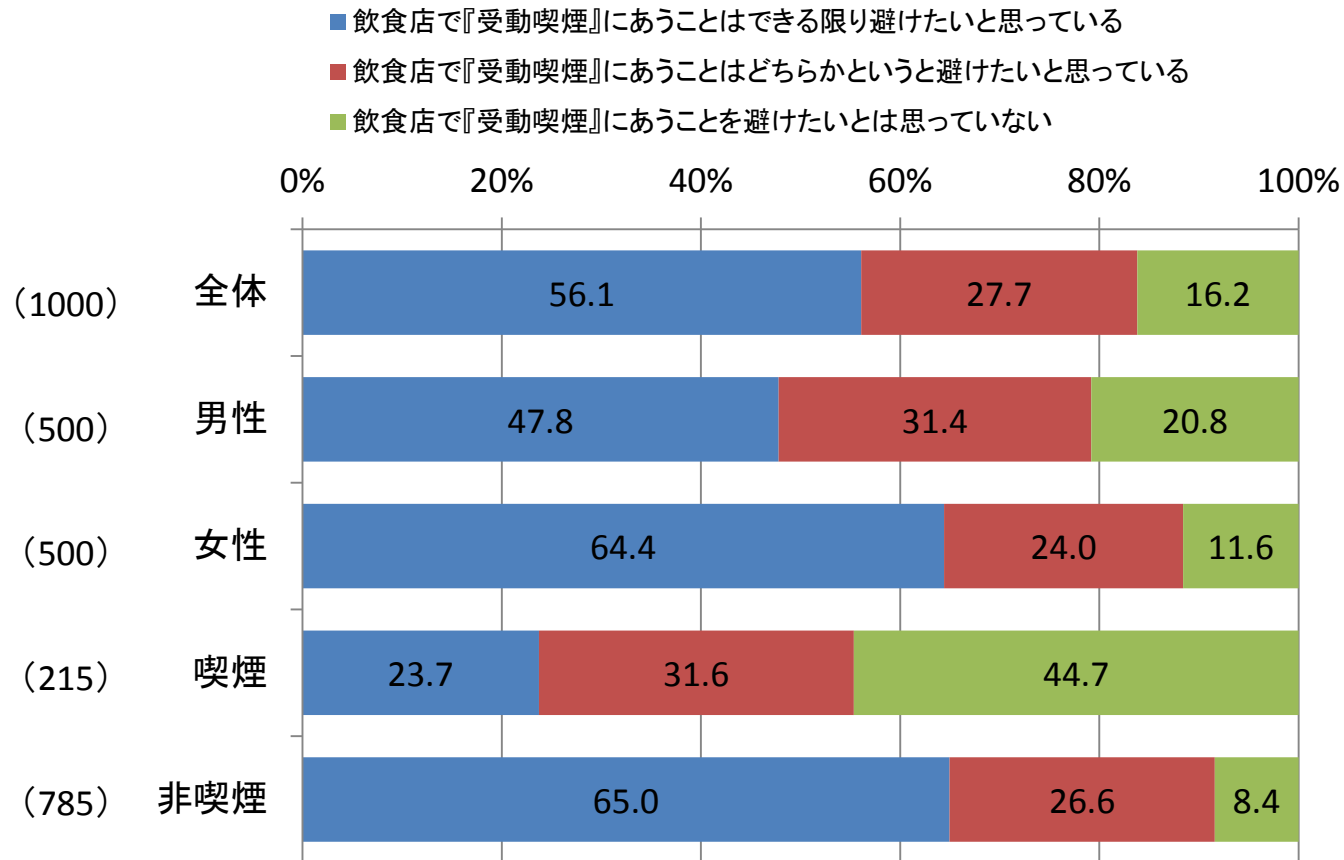
- たばこを吸う家族と一緒にだったので飲食店で『受動喫煙』にあったことがある
- たばこを吸う職場の人と一緒にだったので飲食店で『受動喫煙』にあったことがある
- たばこを吸う知人・友人と一緒にだったので飲食店で『受動喫煙』にあったことがある
- 上記のようなことで『受動喫煙』にあったことはない



Q10 「たばこを吸う人」と一緒であった場合に飲食店で『受動喫煙』にあうことに対する意見

Q10: あなたは、知人友人・職場の人・家族で「たばこを吸う人」と一緒であった場合、飲食店で『受動喫煙』にあうことについて、どのように思われますか。以下の中であてはまるものを一つお知らせください。

- ・ 知人友人・職場の人・家族で「たばこを吸う人」と一緒であった場合、飲食店で『受動喫煙』にあうことについて、「できる限り避けたい」が56.1%、「どちらかという避けたい」が27.7%、合計83.8%の人が「避けたい」と回答している。
- ・ 「女性」では合計88.4%、「非喫煙者」では合計91.6%と高くなっている。
- ・ 「喫煙者」も、合計55.3%の人が『受動喫煙』を「避けたい」と回答している。



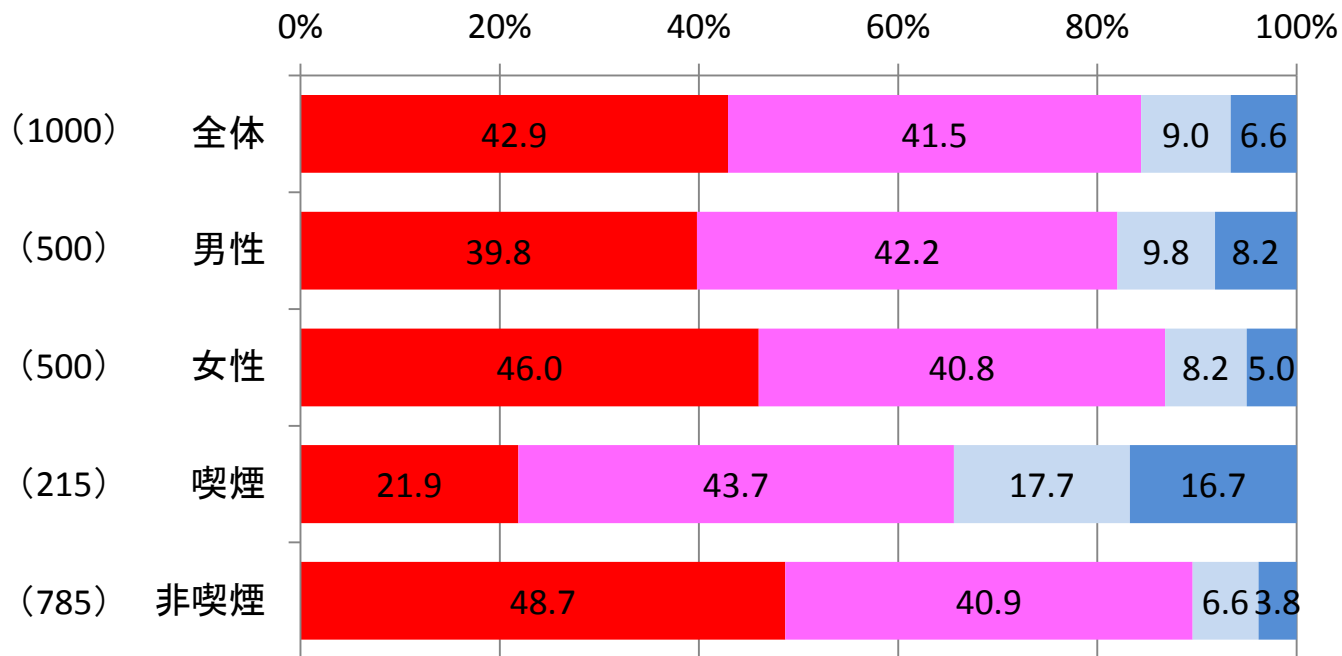
Q11 「煙草を吸う人」と一緒の場合の『受動喫煙』防止対策をとっている飲食店の選択意向

Q11: あなたは、知人友人・職場の人・家族で「たばこを吸う人」と一緒に飲食店を利用することになった際に、『受動喫煙防止対策をとっている』お店と、『受動喫煙防止対策をとっていない』お店を自分の希望だけで選べるとしたらどちらが良いですか。

※『受動喫煙防止対策をとっている／受動喫煙防止対策をとっていない』以外は、同じ条件のお店が二軒あると想定してください。

- ・ 知人友人・職場の人・家族で「たばこを吸う人」と一緒の際に、『受動喫煙防止対策をとっている』お店と『受動喫煙防止対策をとっていない』お店を選べる場合、『受動喫煙防止対策をとっているお店を選ぶ』が42.9%、『どちらかという受動喫煙防止対策をとっているお店を選ぶ』が41.5%、合計84.4%の人が『受動喫煙防止対策』をとっているお店を選ぶと回答。
- ・ 喫煙者においても、『受動喫煙防止対策をとっているお店を選ぶ』『どちらかという受動喫煙防止対策をとっているお店を選ぶ』の合計65.6%が『受動喫煙防止対策』をとっているお店を選ぶと回答している。

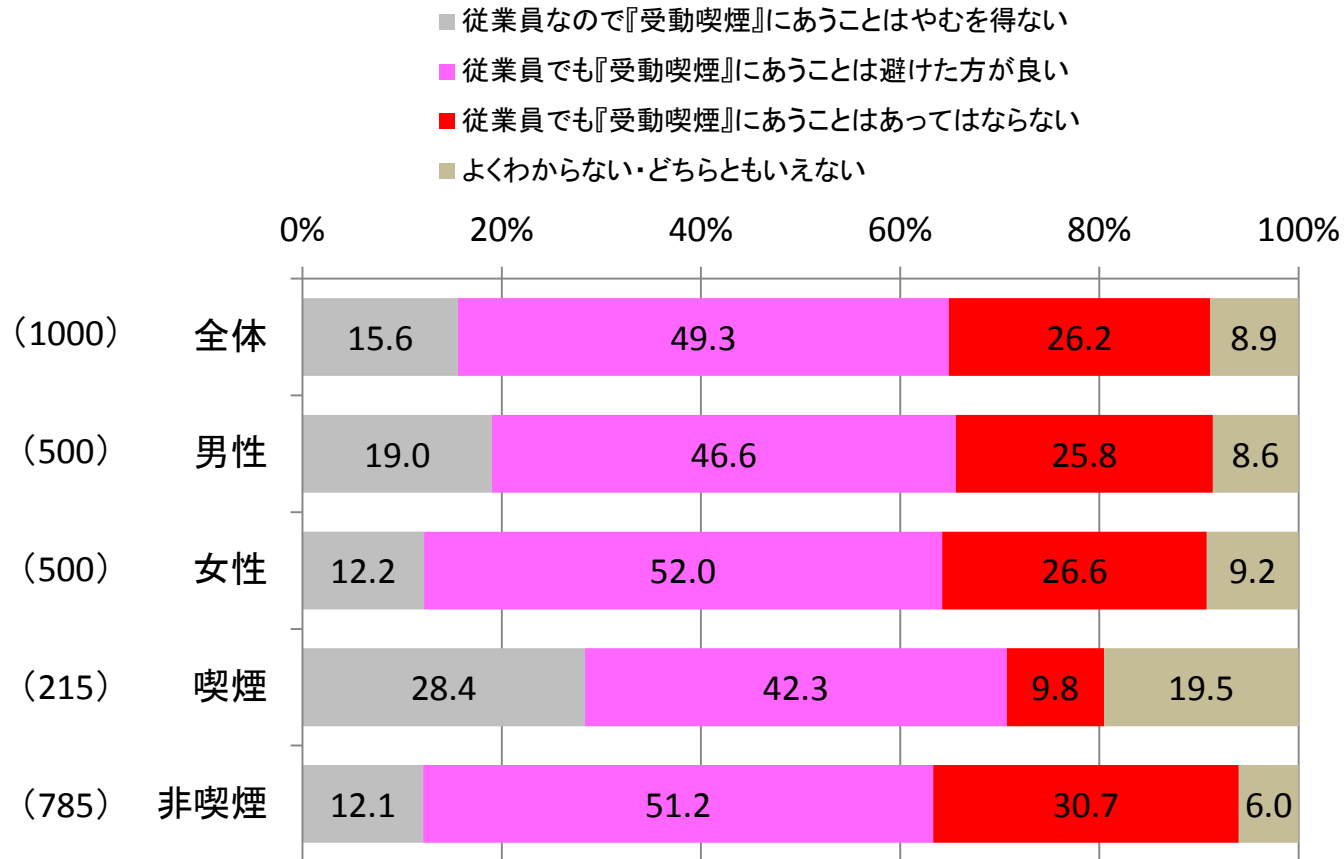
- 『受動喫煙防止対策をとっている』お店を選ぶ
- どちらかという『受動喫煙防止対策をとっている』お店を選ぶ
- どちらかという『受動喫煙防止対策をとっていない』お店を選ぶ
- 『受動喫煙防止対策をとっていない』お店を選ぶ



Q12 飲食店の従業員の人たちが、『受動喫煙』にあっていることに対する意見

Q12: あなたは、飲食店の従業員の人たちが、働きながら『受動喫煙』にあっていることについてどのように考えられますか。

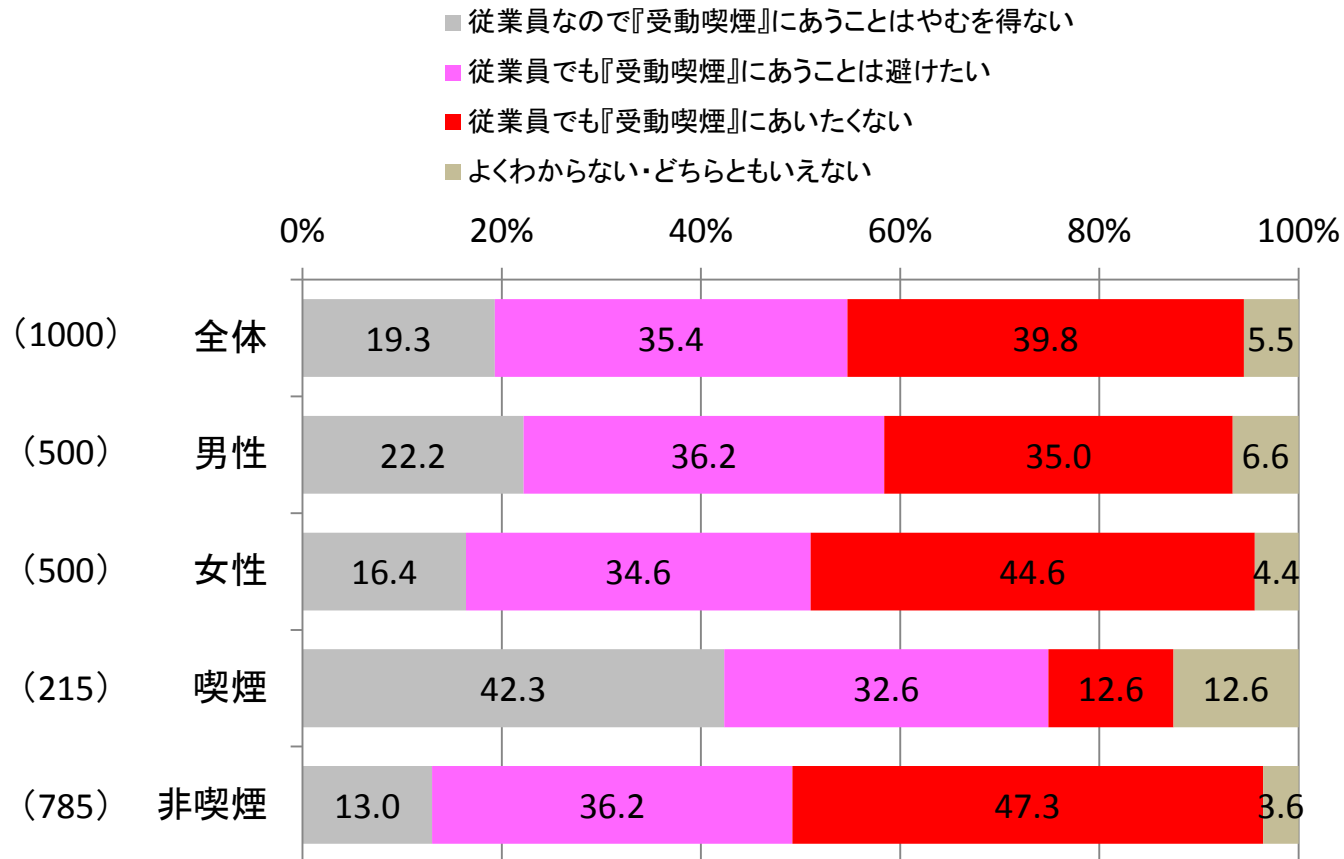
- ・「従業員でも『受動喫煙』にあうことは避けた方が良い」が49.3%、「従業員でも『受動喫煙』にあうことはあってはならない」が26.2% となっており、合計75.5%の人が、飲食店の従業員でも『受動喫煙』にあわない方が良いと回答している。
- ・「従業員なので『受動喫煙』にあうことはやむを得ない」は15.6%。



Q13 自分が飲食店の従業員と仮定した場合の、『受動喫煙』にあっていることに対する意見

Q13: あなたは、もしご自身が飲食店の従業員として働いている環境で『受動喫煙』にあっているとしたら、どのように考えられますか。

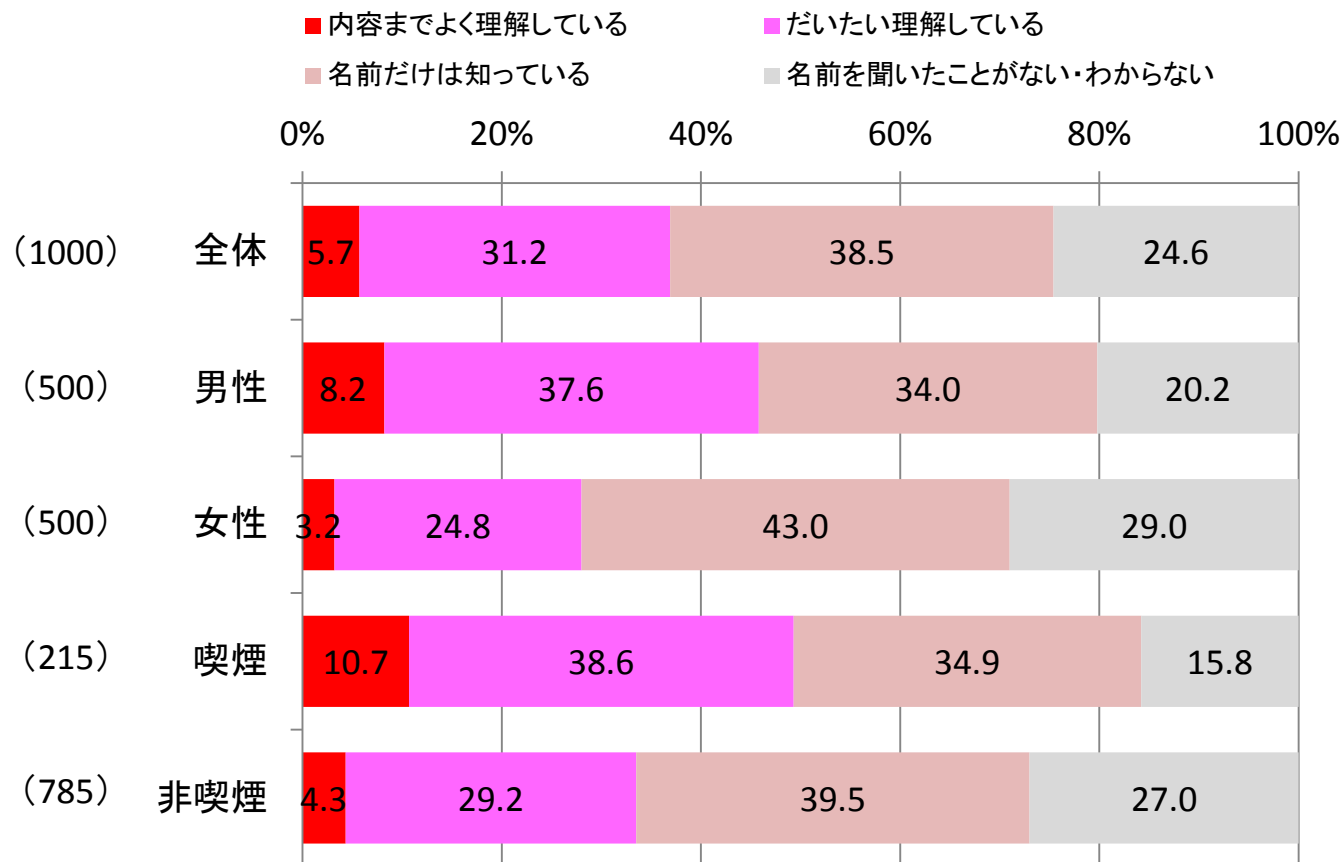
- ・ 自分が飲食店の従業員として働いている環境で『受動喫煙』にあっているとしたら、という仮定のもとで、「従業員でも『受動喫煙』にあうことは避けた方が良い」が35.4%、「従業員でも『受動喫煙』にあうことはあってはならない」が39.8% となっており、合計75.2%の人が、『受動喫煙』にあわない方が良いと回答。
- ・ 「従業員なので『受動喫煙』にあうことはやむを得ない」は19.3%。



Q14 国の『受動喫煙を防止するための法律案』認知・理解

Q14: あなたは、国のすすめる『受動喫煙を防止するための法律案』(健康増進法の一部を改正する法律案)についてご存知ですか。

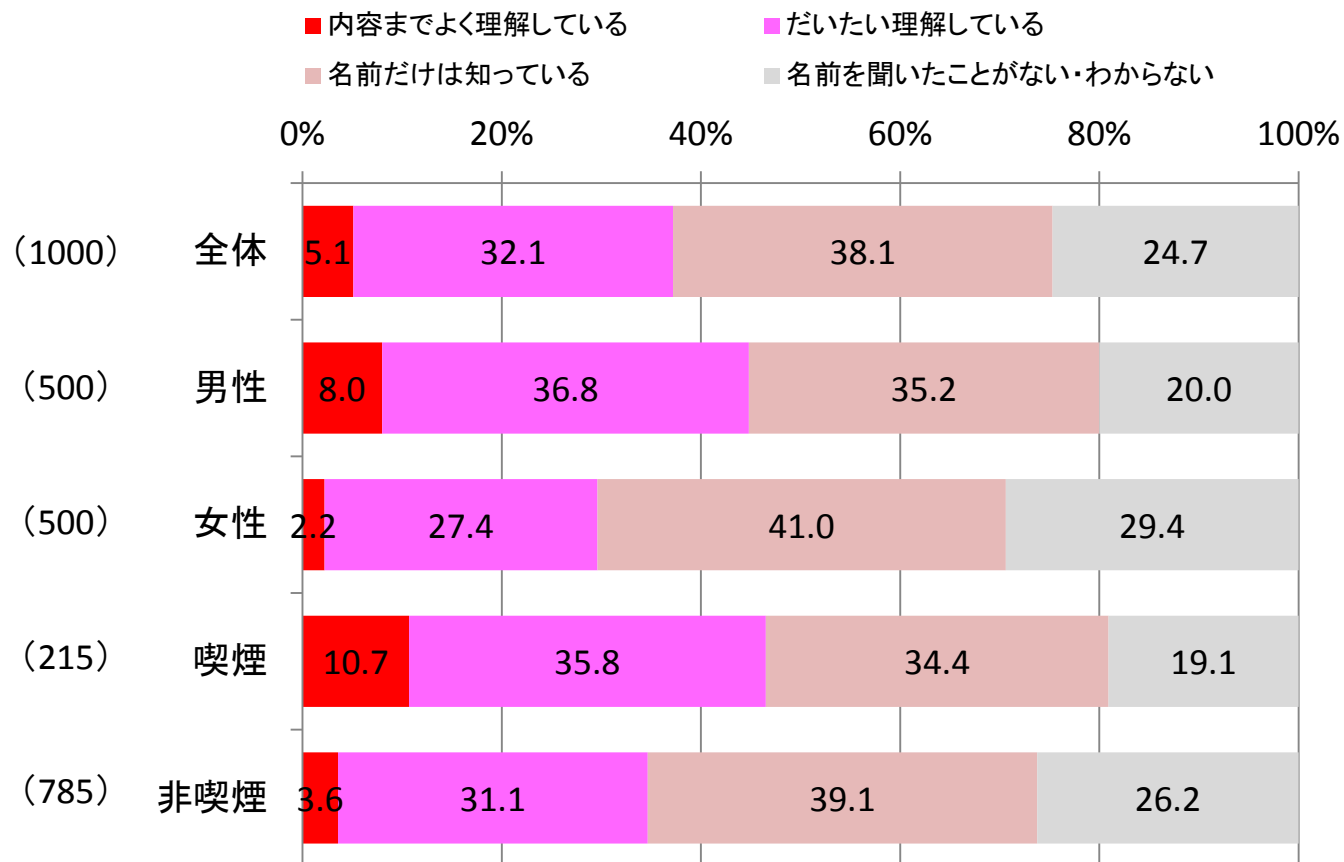
- ・「内容まで知っている」5.7%、「だいたい理解している」31.2%、「名前だけ知っている」38.5%で三者合計を認知率とすると、75.4%の人が認知している。
- ・「男性」「喫煙者」で認知率が高い。



Q15 東京都のすすめる『受動喫煙を防止するための条例案』 認知・理解

Q15: あなたは、東京都のすすめる『受動喫煙を防止するための条例案』(東京都受動喫煙防止条例案)についてご存知ですか。

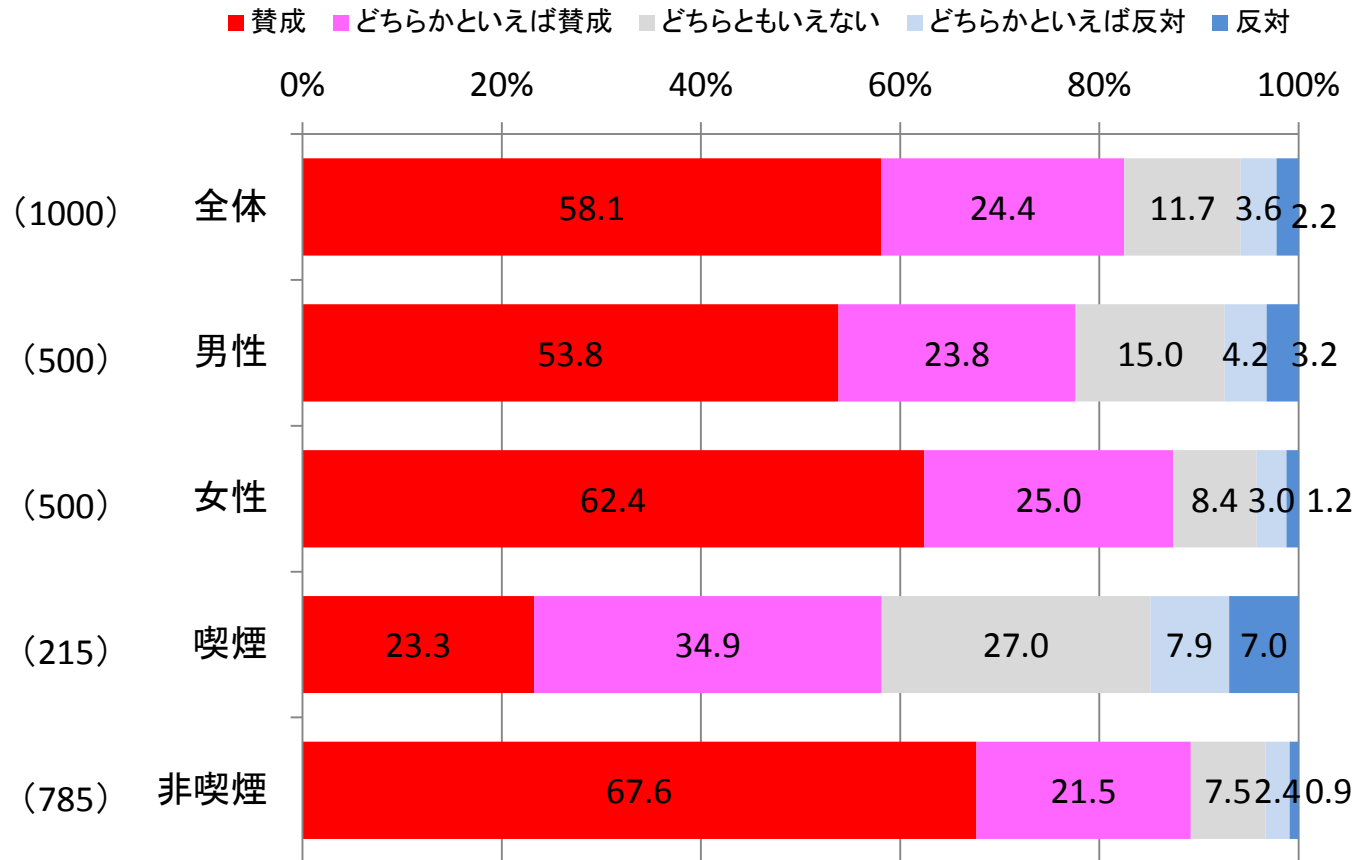
- ・「内容まで知っている」5.1%、「だいたい理解している」32.1%、「名前だけ知っている」38.1%で三者合計を認知率とすると、75.3%の人が認知している。
- ・国のすすめる『受動喫煙を防止するための法律案』の認知率と非常に数値が近い。
- ・「男性」「喫煙者」で認知率が高い。



Q16 「国が受動喫煙を防止する目的で立法の準備をすすめていること」への意見

Q16: 国は、受動喫煙の防止を推進するために『受動喫煙を防止するための法律案(健康増進法の一部を改正する法律案)』の準備をすすめています。あなたは、国が受動喫煙を防止する目的で立法の準備をすすめていることに賛成ですか。

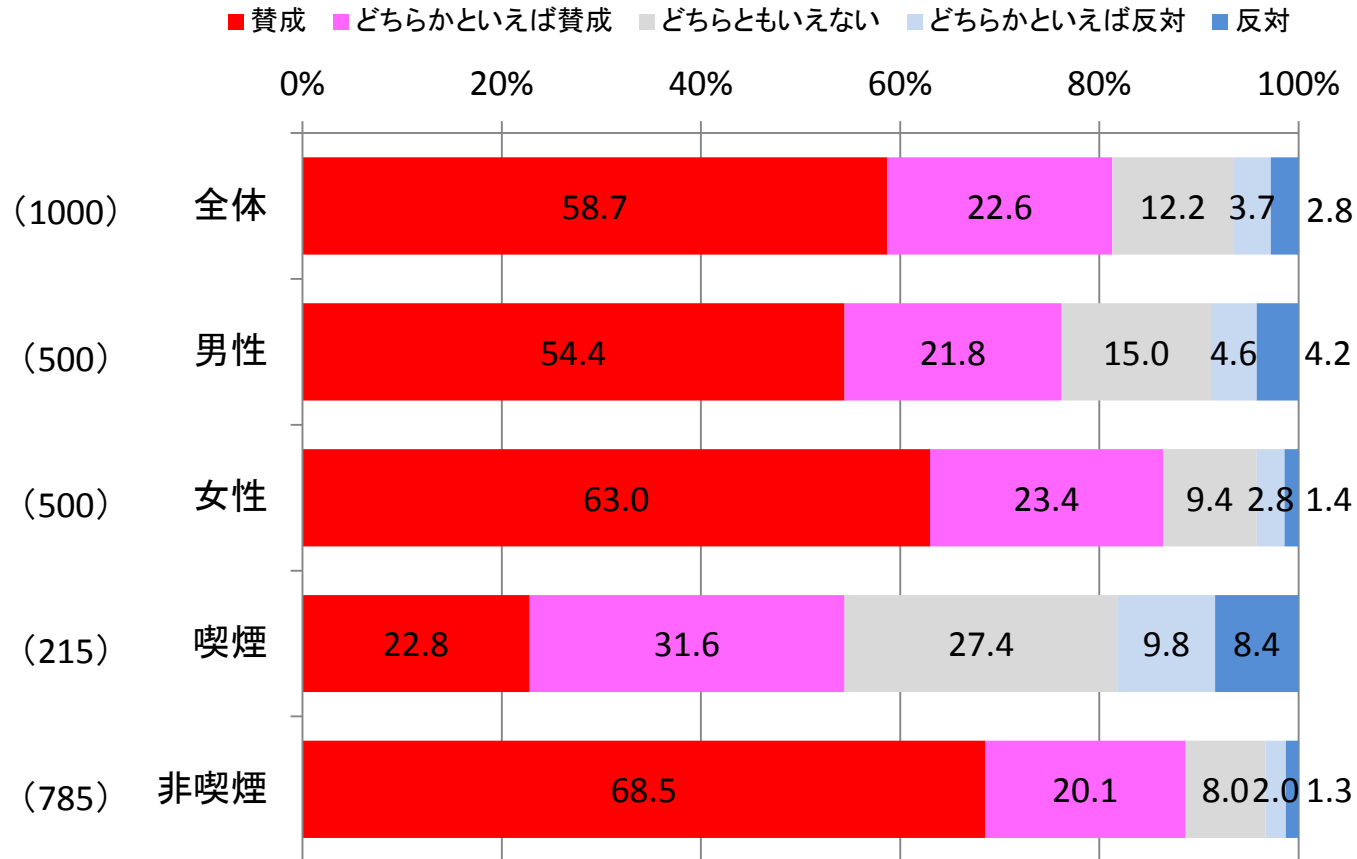
- ・ 全体では「賛成」58.1%、「どちらかといえば賛成」24.4%、両者の合計で82.5%の人が賛成している。
- ・ 「喫煙者」で見ると「賛成」23.3%、「どちらかといえば賛成」34.9%、両者の合計で賛成は58.2%と低いが、「どちらかといえば反対」7.9%、「反対」7.0% 両者合計で反対は14.9%であり、賛成の方が多い。



Q17 「都が受動喫煙を防止する目的で条例の準備をすすめていること」への意見

Q17: 東京都は、国の方針を受け、受動喫煙の防止を更に推進するために『東京都受動喫煙防止条例案』の準備をすすめています。あなたは、東京都が受動喫煙を防止する目的で条例の準備をすすめていることに賛成ですか。

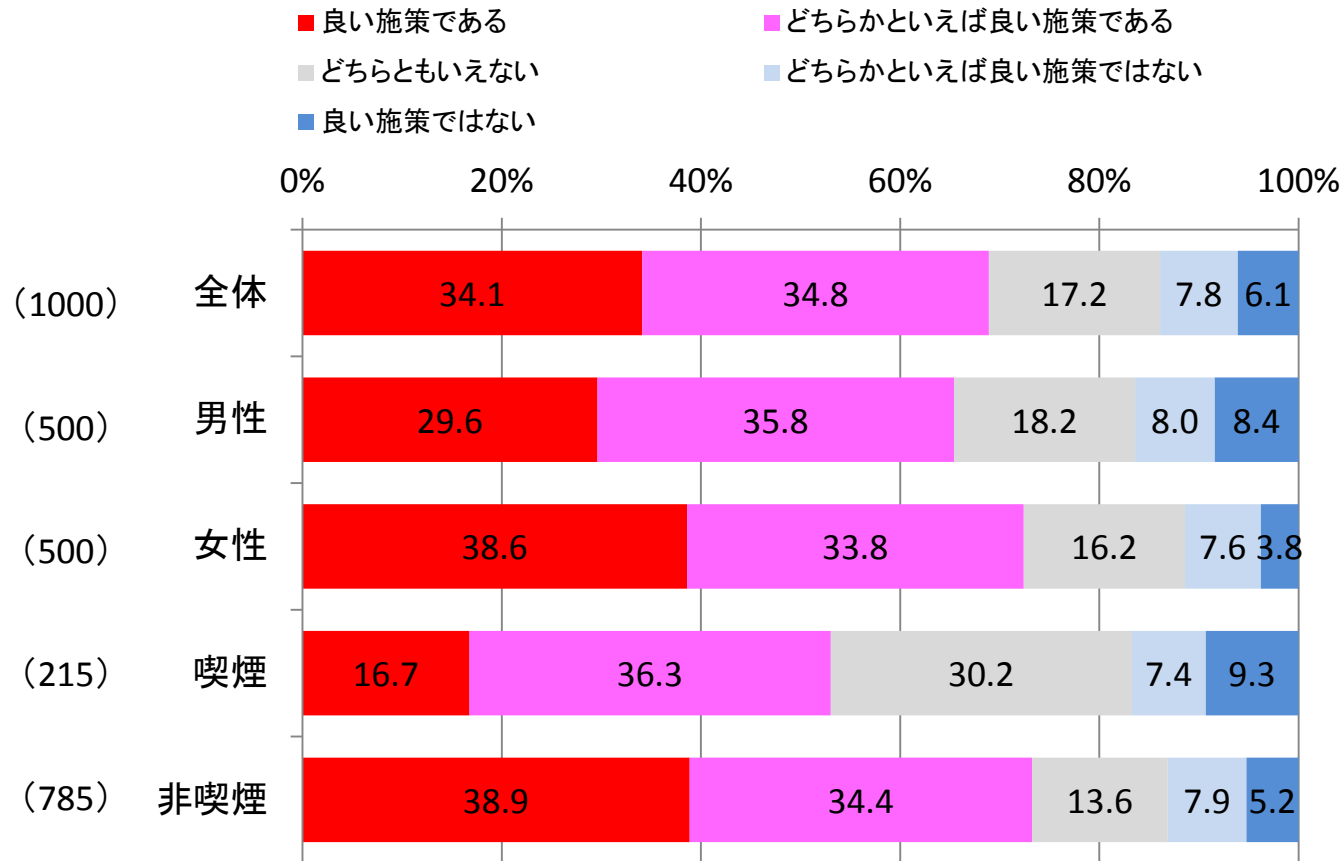
- ・ 全体では「賛成」58.7%、「どちらかといえば賛成」22.6%、両者の合計で81.3%の人が賛成している。
- ・ 国のすすめる『受動喫煙を防止するための法律案』に対する賛成の数値と非常に数値に近い。
- ・ 「喫煙者」で見ると「賛成」22.8%、「どちらかといえば賛成」31.6%、両者の合計で賛成は54.4%と低いですが、「どちらかといえば反対」9.8%、「反対」8.4% 両者合計で反対は18.2%であり、賛成の方が多い。



Q18 「国が受動喫煙を防止する目的で立法の準備をすすめていること」への評価

Q18: 国のすすめる『受動喫煙を防止するための法律案 (健康増進法の一部を改正する法律案)』について、あなたの考えを伺います。

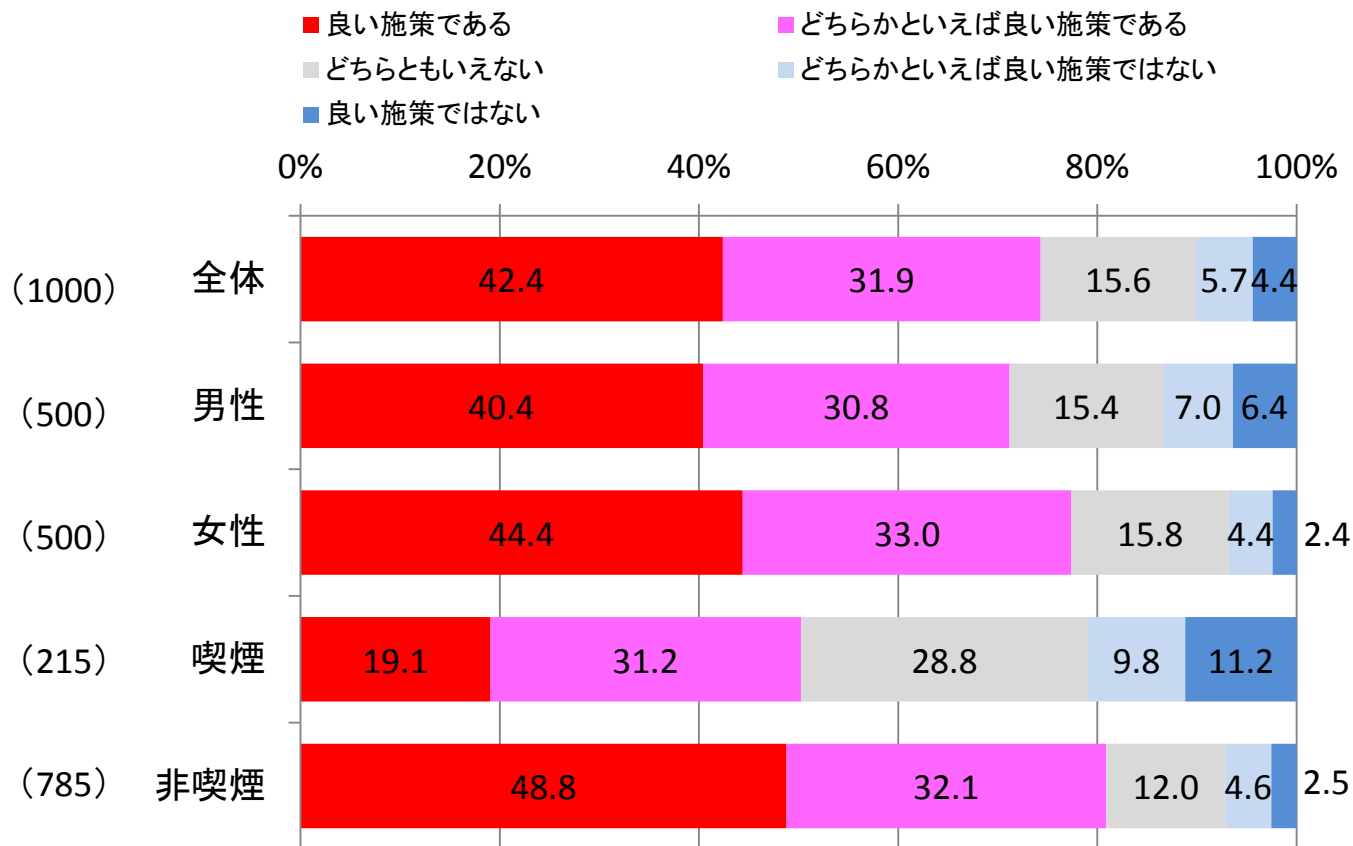
- ・ 「良い施策である」34.1%、「どちらかといえば良い施策である」34.8%、両者の合計で68.9%の人が良い施策として評価している。
- ・ 「喫煙者」で見ると「良い施策である」16.7%、「どちらかといえば良い施策である」36.3%、両者の合計で良い施策として評価している人は53.0%となるが、「どちらかといえば良い施策ではない」7.4%、「良い施策ではない」9.3% 両者の合計で良い施策ではないという評価は16.7%であり、良い施策であるという評価の方が多い。



Q19 「都が受動喫煙を防止する目的で条例の準備をすすめていること」への評価

Q19: 東京都のすすめる『東京都受動喫煙防止条例』について、あなたの考えを伺います。

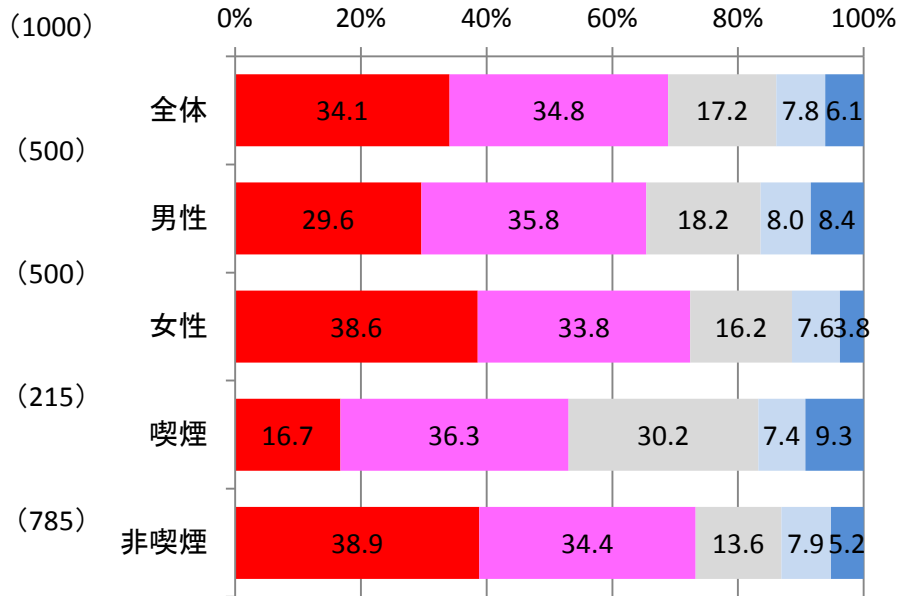
- ・ 「良い施策である」42.4%、「どちらかといえば良い施策である」31.9%、両者の合計で74.3%の人が良い施策として評価している。
- ・ 「喫煙者」で見ると「良い施策である」19.1%、「どちらかといえば良い施策である」31.2%、両者の合計で良い施策として評価している人は50.3%となるが、「どちらかといえば良い施策ではない」9.8%、「良い施策ではない」11.2% 両者の合計で良い施策ではないという評価者は21.0%であり、良い施策であるという評価の方が多い。
- ・ 国のすすめる『受動喫煙を防止するための法律案』に対する評価と比べると、全体の数値では東京の条例案の評価が高く、「喫煙者」では東京の条例案の評価がやや低い。



- ・ 国のすすめる『受動喫煙を防止するための法律案』に対する評価と比べると、全体の数値では東京の条例案の評価が高く、「喫煙者」では東京の条例案の評価がやや低い。

Q18 「国が受動喫煙を防止する目的で立法の準備をすすめていること」への評価

- 良い施策である
- どちらかといえば良い施策である
- どちらともいえない
- どちらかといえば良い施策ではない
- 良い施策ではない



Q19 「都が受動喫煙を防止する目的で条例の準備をすすめていること」への評価

- 良い施策である
- どちらかといえば良い施策である
- どちらともいえない
- どちらかといえば良い施策ではない
- 良い施策ではない

